

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2008-500675(P2008-500675A)

【公表日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2007-515104(P2007-515104)

【国際特許分類】

G 11 C 11/406 (2006.01)

【F I】

G 11 C 11/34 3 6 3 H

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月11日(2008.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

集積回路メモリであって、

複数バンクのリフレッシュ可能なメモリセルを有するメモリアレイと、

複数のリフレッシュカウンタであって、前記複数のリフレッシュカウンタのうちの1つのリフレッシュカウンタが、前記複数バンクのうちの対応する1つのバンク内において、リフレッシュ動作の数を計数する、複数のリフレッシュカウンタと、

前記複数のリフレッシュカウンタに接続されたクロックカウンタであって、該クロックカウンタはリフレッシュ動作に残されている最大時間を判定するための選択可能な所定値で初期化される、クロックカウンタと、

を備える、集積回路メモリ。

【請求項2】

複数のメモリバンクに構成された複数のリフレッシュ可能なメモリセルを有するメモリをリフレッシュするための方法であって、

バースト動作のために前記メモリにアクセスすること、

前記バースト動作時、前記複数のメモリバンクのうちの1つへのアクセスを検出すること、

前記バースト動作に応答して、前記バースト動作時、アクセスされていない前記複数のメモリバンクのうちの1つのバンクのメモリセルをリフレッシュすること、

を備える、方法。

【請求項3】

複数のメモリバンクに構成された複数のリフレッシュ可能なメモリセルを有するメモリをリフレッシュするための方法であって

前記複数のメモリバンクのうちの1つのバンクをリフレッシュするために残されている最大時間を判定すること、

前記残されている最大時間をユーザプログラム可能なレジスタビットフィールドに記憶すること、

を備える、方法。